

受講番号		氏名	
------	--	----	--

平成27年度 登録造園基幹技能者講習

試験問題

大阪会場

[注 意]

1. 答は別の解答用紙に記入してください。
2. 答を訂正する場合は、消しゴムでていねいに消して訂正してください。
3. この問題用紙の余白は、計算等に使用して差し支えありません。
4. 退席の際、解答用紙とともにこの問題用紙も回収しますので、持ち帰らない
てください。

一般社団法人 日本造園建設業協会

一般社団法人 日本造園組合連合会

[問題 1] 登録基幹技能者の役割として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 現場の状況に応じた施工方法の提案、調整
- (B) 元請技術者の配置、施工計画書の作成の指導
- (C) 生産グループ内の技能者に対する施工に係る指示、指導
- (D) 前工程・後工程に配慮した他の職長との連絡、調整

[問題 2] 登録基幹技能者に求められる能力に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 作業員の適正な配置、効率的な作業手順を指導することができる。
- (B) 目標どおりに工事を完成させることができる。
- (C) コストに関係なく常に最高品質の施工ができる。
- (D) 部下の指導、教育を計画的に行うことができる。

[問題 3] 建設業において社会保険等未加入企業が多数存在することにより生じている問題として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 若年入職者の減少
- (B) 建設産業の持続的発展の阻害
- (C) 法令遵守企業との競争上の不平等
- (D) 工事目的物の品質低下

[問題 4] 造園工事の特性に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 関連する建設分野や生態系など周辺領域に関する幅広い知識が求められる。
- (B) 植物の生長や素材の変化などによる空間バランスに配慮する。
- (C) JIS 規格で定められた植物や自然石などの材料を多用する。
- (D) 工事竣工後も継続して植物の育成管理が必要である。

[問題 5] 造園設計図書に該当するものとして、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 質疑回答書
- (B) 特記仕様書
- (C) 設計図
- (D) 安全計画書

[問題 6] 造園設計に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 基本構想は、基本計画の内容を反映し設計の前提条件を整理したものである。
- (B) 基本計画は、基本構想に沿って空間イメージを決める段階である。
- (C) 基本設計は、基本計画の空間イメージを具体的な形にする段階である。
- (D) 実施設計は、基本設計の内容を施工に必要な設計図書にしたものである。

[問題 7] 実務に役立つ話し方の注意点に関する記述として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 話のテーマを明確にする必要はなく、直接的な事項を最優先にする。
- (B) 代替案があると目的とするテーマが不明確になってしまうため、検討案を充実させる。
- (C) 話すスピードは、少し遅いくらいのほうが相手によく理解される。
- (D) 担当、日程、コストなどはあやふやな表現にしておいたほうが有利である。

[問題 8] 関係者との調整方法に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 造園工事に関連する工事の内容や工程の後先は気にせず、効率的に調整を行う。
- (B) 同一現場内で関係する他業種の職長に対して、造園工事の特性を伝えて周知する。
- (C) 造園工事が他業種の工事に影響を及ぼすと思われる必要事項は、早めに伝える。
- (D) 他業種の工事の後片付け作業などが発生しないよう、造園工事の作業範囲は明確にしておく。

[問題 9] O J Tによる指導・教育の基本認識に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) O J Tは上司の仕事そのものであるという認識をもつことが大切である。
- (B) 指導する上司の能力レベルに合わせて部下の育成目標を立てることが大切である。
- (C) O J Tの実施により仕事のペースは落とさないとの認識に立って、継続的に日常的に実施する。
- (D) 部下が組織外の実態、考え方などに触れて視野を拡大する機会を設けるように心がける。

[問題 10] O J Tに関する記述として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 日常の仕事を通して行う指導である。
- (B) 日常の仕事から離れて行われる集合研修・教育である。
- (C) 「現場に出て仕事を覚えろ」という「捨て育ち的」に行うものである。
- (D) 体系的、理論的な訓練に効果がある方法である。

[問題 11] 都市公園の設置基準に関する記述として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 街区公園は、街区内に居住する者が容易に利用できるように配置し、その敷地面積は0.25haを標準とする。
- (B) 近隣公園は、徒歩圏内に居住する者が容易に利用できるように配置し、その敷地面積は1.0haを標準とする。
- (C) 運動公園は、近隣に居住する者が容易に利用できるように配置し、その敷地面積は4.0haを標準とする。
- (D) 地区公園は、利用目的に応じて都市公園としての機能を十分発揮できるように配置し、その敷地面積を定める。

〔問題 12〕 公園、街路樹等における農薬使用に際しての遵守事項に関する記述として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 病害虫による被害を事前に予防するため、病虫害発生の有無にかかわらず定期的に農薬を散布する。
- (B) 病虫害の発生前に予防的に農薬を散布する場合には、現場でいくつかの農薬を混ぜて使用する。
- (C) 農薬散布は、風の弱い近隣に影響が少ない天候の日や時間帯を選び、風向きによる飛散を気にせずに広範囲に行う。
- (D) 当該植物に適用のある農薬取締法に基づく登録農薬を、ラベル記載の使用方法和使用上の注意事項を守って使用する。

〔問題 13〕 現場のKY活動に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) できる限り、全員に発言させる。
- (B) 熟練者を中心に発言してもらう。
- (C) 話を聞く態度をチェックする。
- (D) 本日の行動目標に対し、参加者から了解の返事をもらう。

〔問題 14〕 労働安全衛生法に定める法定の安全衛生教育として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 経営首脳に対する安全セミナー・教育
- (B) 職長に対する教育
- (C) 作業内容変更時における教育
- (D) 安全管理者等に対する能力向上教育

〔問題 15〕 建設現場におけるリスクアセスメントを実施する時期として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 新しい作業員が入ってきたとき
- (B) 足場の設備を設置するとき
- (C) 作業標準を変更するとき
- (D) 機械設備を変更するとき

- [問題 16] 施工管理における三大管理に関する記述として、**適当なもの**はどれか。
- (A) 「安全管理」、「労務管理」、「資材管理」である。
 - (B) 「安全管理」、「品質管理」、「工程管理」である。
 - (C) 「原価管理」、「工程管理」、「環境保全管理」である。
 - (D) 「品質管理」、「工程管理」、「原価管理」である。
- [問題 17] 工事共通仕様書における用語の定義に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。
- (A) 指示とは、監督職員が受注者に対して、工事の施工上必要な事項について書面により示し、実施させることをいう。
 - (B) 承諾とは、契約図書で明示した事項について、発注者若しくは監督職員または受注者が書面により同意することをいう。
 - (C) 協議とは、契約図書の内容変更等について、発注者または監督職員が受注者に対して書面により通知することをいう。
 - (D) 報告とは、受注者が監督職員に対し、工事の状況または結果について書面により知らせることをいう。
- [問題 18] 工程管理に関する記述として、**適当なもの**はどれか。
- (A) ネットワーク工程表は、多工種で複雑な工事の工程管理に有効である。
 - (B) 横線式工程表は、それぞれの工種がどのように工期に影響するかを把握しやすい。
 - (C) ネットワーク工程表は、横線式工程表の一種である。
 - (D) 曲線式工程表は、ネットワーク工程表を作成した後に必ず作成する。
- [問題 19] ネットワーク工程表を用いた工程計画における労務量の平準化に関する記述として、**適当なもの**はどれか。
- (A) 工程計画において、労務量の平準化は安全性の確保のためにのみ必要である。
 - (B) 労務量の平準化のことをクリティカルパスといい、トータルフロートは0となる。
 - (C) 山積み山崩しにより労務量を平準化することは、効率性の向上に有効である。
 - (D) 工程計画において労務量の平準化が一番大切なことであり、そのために全体工程が遅れてもよい。

〔問題 20〕 植栽基盤の成立条件の項目として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) pH が 8～9 であること
- (B) 透水性が良好であること
- (C) 適度な保水性があること
- (D) 土壌硬度が適当であること

〔問題 21〕 品質管理における写真管理に関する記述として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 工事竣工後に確認することが困難な不可視部分は、撮影を省略する。
- (B) 植栽工事のうち高木の植栽工事の場合は、写真管理を行う必要はない。
- (C) 工事写真は、工事中の測定、試験、検査など品質管理に必要な事項の実施状況や結果を記録するために行うものである。
- (D) 写真管理は、完成写真によりその納まりを確認することが主な目的である。

〔問題 22〕 資材管理に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 資材発注計画は、工事の進捗に合わせて、必要な数量を、最小の費用で供給するように作成する。
- (B) 一般資材の確認において、通常流通している資材、製品を使用する場合は、カタログなどで確認可能である。
- (C) セメント、肥料、土壌改良剤などは、雨に当たらないよう資材倉庫や保管場所を準備する。
- (D) 現場に納入された資材は、出来る限り荷ほどきをしない状態で検収を行うようにする。

〔問題 23〕 公共用緑化樹木等品質寸法規格基準(案)に関する記述として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 樹高 (H)、幹周 (C)、枝張 (W) の寸法は、センチメートルで示す。
- (B) 株立 (物) の株立数 (B.N) は、「○本立以上」として示すものとし、本数及び芽立数は、2～、3～などで表わす。
- (C) シバ類の寸法は、切りシバにあってはミリメートルで示す。
- (D) つるもの類の寸法は、つる長をH○メートルで示す。

〔問題 24〕 原価管理に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 見積もりは、設計図書などを十分検討し、現場条件を調査して、詳細な施工計画を立て、それに基づいた原価計算により作成する。
- (B) 実行予算は、工事受注の後、見積もり時に立てた施工計画に基づいて作成しなければならない。
- (C) 工事の進行に伴って材料費、労務費、外注費等の費用が発生してくるが、これが当該工事の実施原価になる。
- (D) 実施原価と実行予算に差異が生じた場合は、その原因を分析・検討し、施工計画の再検討を含む原価引き下げの措置を講じる。

〔問題 25〕 コストダウンの考え方に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 売上高を伸ばす。
- (B) 粗利益を活かす。
- (C) 変動費を低減する。
- (D) 固定費を増加する。